市民ワークショップ「みんなで築こう水口岡山城の未来」第２回　開催結果

１．ワークショップの概要

・目的

平成 29 年２月に国史跡に指定された水口岡山城跡が、地域のシンボルとして長く愛されるために、城跡の将来像について地域住民の皆様と一緒に考えるワークショップを開催した。第２回目は、第１回目で浮き彫りとなった、水口岡山城の現状と課題を解決していくためのアイデアや意見を出し合い、水口岡山城の将来像について意見交換をした。

・日時と場所

令和６年９月２１日（土）　１９時３０分～２１時００分

甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」多目的室１・２

・参加者

一般参加 14 名、甲賀市歴史文化財課６名

２．進行内容

・当日次第

19：00　受付開始

19：30　開会あいさつ

19：40　第２回目の趣旨説明

19：50　グループワーク開始

① 個別作業　望ましい水口岡山城の将来像（個人の意見のまとめ）
保存面・活用面・整備面

② 参加者間での意見交換

③ グループでのまとめ

20：30　グループ発表

20：55　全体のまとめ

21：00　閉会あいさつ

・実施内容

５～６人のグループで個人の意見を出し、各グループで集約、整理し、全体発表を行った。

３．各グループのキャッチコピーと意見・提案

Ａグループ「愛が一番♡トイレが二番」

Ｂグループ「未来かがやく明るい水口岡山城」

Ｃグループ「水口岡山城見える化プロジェクト」

※それぞれの意見提案は別紙のとおり

４．まとめ

各グループの意見で共通するポイントは、①遺構や景観の整備、②アクセス・インフラの改善、③観光、

④教育・ＰＲ活動が挙げられる。①遺構や景観の整備は、残存する石垣を保護し、草刈によって遺構の顕在化を図る。また、眺望の良さをアピールするために、山頂付近の整備を行うといった意見である。②アクセスの改善は、駐車場や登山道の整備により、気軽に水口岡山城に登ることができるようにするといった意見やキャッチコピーにもあるように、トイレの整備は必須という意見もあった。また、リフト・ロープウェイの設置をするといった意見もあった。③観光では、売店の設置やイベントにあわせた見学会の開催などの意見があった。④教育・ＰＲ活動では、学校との連携した教育やデジタル技術を活用した解説、イベントにあわせた見学会の開催などにより、城の歴史や文化をより深く学べる機会とするような意見があった。

今回のワークショップの結果は、水口岡山城跡保存活用計画検討委員会にて報告する。

ワークショップの様子

各グループの意見

Ａグループ

キャッチコピー「愛が一番♡トイレが二番」

カテゴリ	意見
活用に向けた整備	トイレの拡充
	下に案内所と駐車場の整備
	道路整備(車、バス)
	山頂駐車場と道路整備
	トイレの整備
	駐車場整備
	上に休憩スペース(屋根付き、自販機あり)
	トイレを綺麗に整備する
	トイレ(水洗)
	イベントスペース(天守台などに)
	展望台もしくはスポット整備
	古城が丘、朝日ヶ丘側からの散策路、登山道の整備・案内
	健康散策道の整備
	道にライトを整備
	芝生エリアをつくり、木を切り、見通しよい、憩いの場所
	雨水タンク(防災)
	ロープウェイの設置
	ロープウェイで行きやすく
	戦国遊具の設置
	忍者風アスレチック
遺構の整備	石垣の整備
	発掘した石垣を見せる
	遺構の一部を復元展示
	天守の再建
	崩れた石垣や壊れた階段を修繕する
活用	YouTubeでPR番組
	水口歴史民俗資料館以外でも瓦などの展示
	資料館をつくる(歴史だけでなく自然も含む)
	資料館で常設展示
	水口小学校・綾野小学校の学習の取り組み
	遠くから見る山全体の見どころスポット案内
	ライブカメラの設置
	「よみがえれ水口岡山城」以外にも城跡でイベントを行う
	水口城と一体化した取り組み・イベント
	城(山)の区域を具体化とその全体活用
	学校などで水口岡山城に関する特別授業を行う
	山頂からの眺望案内(佐和山城・八幡山城・野洲川流域など)
	遺構の場所が明確にわかるような地図をつくって、施設で配布する
	馬をつかって登り下り
	水口岡山城グッズをもっと作りたい
	城中・東高での取り組み
	近隣子ども園・保育園のおさんぽ活用
	歴史以外の眺望や自然をもっとPRし、より多くの人にきてもらう
	ドラマ・映画のロケ誘致
維持管理	木を伐採し本来の城山に
	樹木の伐採
	木を少し伐採する(自然を壊しすぎない程度に)
	真ん中から上の方の木はすべて切る(全部でもいい)
	遺構の残りが良好なので、それらを維持して未来へつなぐ
	定期的な草刈を行う
	ヤギやヒツジを放牧する(草対策)
	ヤギなどの動物飼育(子供向け)
	「２段の石垣」など遺構の場所を示す標示板をわかりやすいものにリニューアルする
	解説板を最新のものへアップデート

Ｂグループ

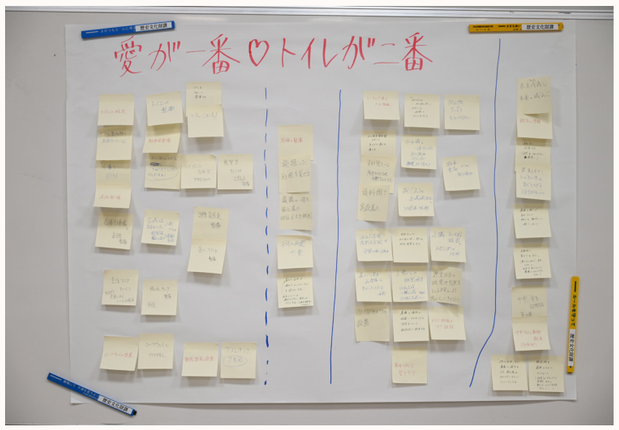
キャッチコピー「未来かがやく明るい水口岡山城」

カテゴリ	意見
保存	積極的な情報発信
	学校教育との効果的な連携
	資料館の増設、展示スペースの設置
	入館料などで資料の保存普及教育活動に充てる
	立体模型作成
活用	グッズ化(城主キャラ・揚羽蝶文瓦)
	地元住民や周辺の学校参加型のイベントやレクレーションの開催
	マインクラフトで城を復元
	QRを活用した解説アプリ
	頂上から花火を観るツアーを開催する
	山頂に見晴台の設置(眺望の良さをアピール)
	登山ルートの詳細マップを作る
	登山者用に蚊対策グッズの提供orレンタル
	自然や植物にもスポットを当て、歴史ファン以外の取り組みを図る
	健康増進事業との結び付け
	城と城下町をフィールドにウォーキングしたいと思える取り組み
	キャラクターの活用
	地域コイン
整備	休憩所をふやす
	駐車場がわかりやすいように
	散策道の整備をちゃんとする
	登山道整備
	草刈、階段修繕
	案内看板を目立つように
	草刈と伐採をおもいきってする
	貯水槽周辺などに山頂中腹までの駐車場
	子どもが遊べるスポットを
	樹木で暗いイメージがある。駐車場は明るくしたい
	インフラ整備
	継続的・計画的な環境整備を
その他	山頂までのタクシー送迎

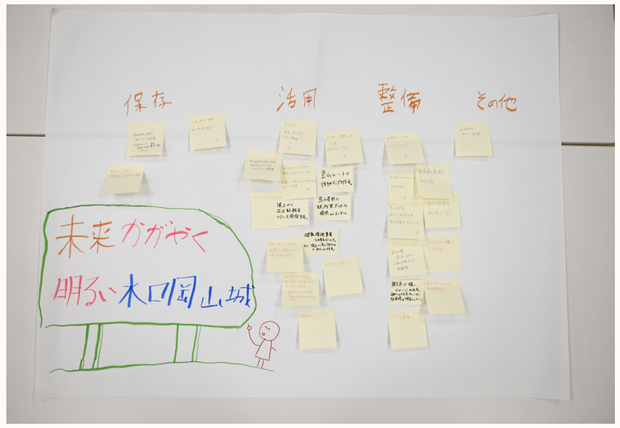
Ｃグループ

キャッチコピー「水口岡山城見える化プロジェクト」

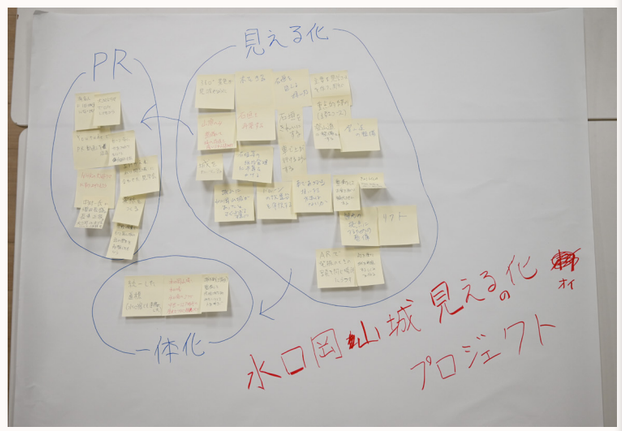
カテゴリ	意見
見える化	３６０度景色が見渡せるように
	木を切る
	石垣を見えるようにする
	主要な見学コースをつくり周知
	重点的な草刈
	山頂のみ整備して城の存在を感じられるようにする
	石垣を再築する
	石垣をきれいにする
	登山道を整備する
	城をたてる
	石垣の維持管理に予算をかける
	車で上まで行けるようにする
	城山に水口岡山城があったとすぐわかるように
	バルーンの設置台を常設する
	車で上がれるようにする方法はないか
	整備してお金を取って観光地化する
	観光の拠点にするための整備
	リフト
	ARで発掘の時の写真を同じ場所に映す
	AIを使って城を再現する仕組みを作る
	切り株トイレに売店を作ってグッズや御城印を売る
PR	有名人に一日城主になってもらう
	大河ドラマでロケしてもらう
	YouTubeでPR動画を放送
	もっと市に力を入れてもらって全国にPR
	NHKの大河ドラマに取り上げてもらう
	城主を大河ドラマの主役に
	よみがえれ水口岡山城にあわせた見学会
	愛称をつくる
	学校の授業でもっと岡山城の話や歴史を勉強してもらう
一体化	統一した道標(水口宿とも連携した)
	水口岡山城、水口城、水口宿の３つで中世～江戸時代の歴史でつなぐ観光づくり
	城下町を整備して彦根城下町みたいにして人を呼ぶ



Ａグループまとめ



Ｂグループまとめ



Ｃグループまとめ